

外国クルーズ客船の受入再開について

1 要旨・目的

新型コロナウイルス感染症の影響により休止していた外国船によるクルーズが、令和5年3月から再開することとなったため、報告する。

2 現状・背景

国土交通省において、令和4年11月に外国クルーズ客船の受入再開が発表され、国や業界団体の調整により、外国クルーズ客船に対応したガイドラインが策定された。

その後、国土交通省において、関係省庁との調整を踏まえ、1月31日及び2月7日に各港湾管理者に対して、当該ガイドラインの説明会が開催されたところである。

3 概要

(1) 事業内容

国等において策定されたガイドラインを踏まえ、各港湾管理者において、順次、入港までにガイドラインを策定し、受け入れを行う。

(2) 今後の対応

広島港及び外国クルーズ客船が寄港する県内港において、早急に関係機関と調整を行いながらガイドラインを策定し、安全対策を講じた上で受け入れを行う。

(3) 3月に広島港に寄港するクルーズ客船

NO	船名	入港年月日	総トン数(t)	全長(m)	乗客定員(人)	接岸場所
1	AMADEA	令和5年3月8日(水)	29,008	192.82	600	宇品外貿
2	NAUTICA	令和5年3月19日(日)	30,277	181.00	684	宇品外貿
3	WESTERDAM	令和5年3月19日(日)	82,862	285.24	1,964	五日市
4	NAUTICA	令和5年3月27日(月)	30,277	181.00	684	宇品外貿
5	AZAMARA QUEST	令和5年3月28日(火)	30,277	180.00	702	宇品外貿

※ NO3「WESTERDAM」は初寄港

(4) 令和5年度の寄港予定

現時点では、広島港において80回を超える寄港が予定されているほか、県東部港湾において外国クルーズ船が初寄港するなど、県全域で多くの寄港が予定されている。

4 その他

国のガイドラインの概要

○ 適用期間

新型コロナウイルスの分類が2類相当から5類に移行するまでの間（～R5.5.7）

○ 感染予防

- ・全乗組員及び乗客の95%以上が2回以上のワクチン接種
- ・乗船前3日以内のPCR検査又は抗原検査による陰性がわかるものの提示

○ 受入体制

- ・待合スペースなどにおける乗客などの一定以上の間隔の確保
- ・建物内の常時換気、定期消毒及び手指消毒液の設置

○ 感染者が発生した場合の対応

- ・船社等からの発生状況等の情報収集を行い、関係機関へ連絡
- ・陸上隔離が必要となった場合の検疫所や広島市が行う感染者の搬送に協力
- ・感染症対応エリアの設定、緊急車両・対応車両の誘導